

鹿児島県公立高校入試徹底分析【国語】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	90点
問題構成	大問5題構成。漢字（行書の知識を含む）・論説文（詩を含む）・古文・小説文・作文。 [1]は漢字（行書の知識）14点。漢字6問（同音異義語・同訓異字の選択問題を含む）と行書の特徴の問題1問。大問の正答率は74.4% [2]は論説文24点。出典（詩「茨木のり子集 言の葉 2」文章「若松英輔 特別授業『自分の感受性くらい』」若松英輔）。記述式は65字以内のものが1問。大問の正答率は51.9% [3]は古文18点。出典（『日本霊異記』）。記述式は7字以内が1問と15字以内が1問。大問の正答率は64.4% [4]は小説文23点。出典（『透明なルール』佐藤いつ子）。記述式は70字以内が1問。大問の正答率は60.2% [5]は作文11点。8行160字。聞き手の役割に関する選択式問題が出題。日本語の魅力について資料をもとにした意見を述べる問題が出題。大問の正答率は54.8%		

	令和7年度(2025)	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)
問題量（A4で）	10ページ分	10ページ分	10ページ分	7ページ分	7ページ分
小問数	27問	26問	25問	26問	26問
論述問題の数	5問	6問	6問	6問	7問
論述問題配点	30点	34点	35点	33点	39点
受験者平均点	54.4点	54.9点	51.1点	57.8点	50.4点

【出題の傾向と対策】

① [1]の漢字に関して、今年度は同音異義語や同訓異字の選択問題が出題。漢字の意味まで含めた理解が必要。

R7[1]

2 次の一線部のカタカナを漢字で書くとき、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- (1) 見事な出来映えにカンシンする。 ア 寒心 イ 関心 ウ 歓心 エ 感心
 (2) 会議で決を上る。 ア 撮 イ 執 ウ 採 エ 捕

正答率は72.4%と73.6%であり、比較的正答率が高かった。

② [1]の漢字の知識に関して、行書における総画数や筆順、行書の特徴などを問う問題が出題されるため、行書においての点画の連続や変化、省略といった書き方の確認が必要。

R7[1]

3 次の行書で書かれた漢字について、点線①・②に囲まれた部分に表れている行書の特徴の組み合わせとして最も適当なものを、あとのア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア (① 点画の省略 ② 点画の連続) イ (① 点画の省略 ② 筆順の変化)
 ウ (① 筆順の変化 ② 点画の省略) エ (① 筆順の変化 ② 点画の連続)



正答率は63.0%であり、昨年の総画数の問題の8割の正答率に比べると低い。行書の特徴の問題は難易度が高い傾向にある。

- ③ [2]の論説文に関して、文章の主題をまとめる問題が出題。文章全体の内容把握とともに、会話の流れをもとにしてまとめる力が必要。説明文の最後の記号問題でも文章全体の流れの理解が必要であった。また、毎年長文の記述が出題される。問題文中にある表現を抜き出しつなげるだけでなく、文章を読み取って理解した内容を自分の言葉で分かりやすく表現する力が問われる。

R7[2]

- 4 次は、【文章】を読んだ後の、先生と大山さんたちの会話です。空欄に入る内容を、【文章】に即して六十五字以内で補い、会話を完成させなさい。

大山さん「省略」

高井さん「省略」

上原さん「生活の言葉を使うことで、詩が他者にも分かりやすく伝わるんだね。でも、筆者が最後に述べている「下の半円は、本当の自分とのつながりを回復すること」とは、どうするということかな。」

大山さん「下の半円は人生の言葉でしょう。つまり、[]ということだよ。」

長文記述問題。正答率は10.8%と昨年までと同様に難易度は高い。本文全体を踏まえたまとめが必要。傍線部の直前をまとめるだけでは解答として不十分であるため、段落を意識して、キーワードをもとに文章中からまとめる必要があった。

- ④ [3]の古文に関して、出題の傾向が変更された。ただし、空欄補充問題であることは変わらないため、難易度は変わらない。資料と比較をして解く問題が多い傾向にあるため、資料の確認が必要。古文単語を知っていればすぐにわかる問題もあり、日頃から重要古語の暗記が必要。

R7[3]

- 4(1) 空欄Ⅰ・空欄Ⅱに適当な言葉を補って、ノートを完成させなさい。ただし、空欄Ⅰには十五字以内、空欄Ⅱには七字以内でふさわしい内容を考えて現代語で答えることとします。

鹿児島県の公立入試の古文で頻出の空欄補充問題。正答率はⅠが52.7%、Ⅱが43.2%と比較的解きやすい問題が多い。注意事項の言葉や資料にまで注目して解くと良い。

まとめ	着眼点	課題
彌勒菩薩が泣き叫んだのは、盗人に、 う行為をやめさせようとしたからだと考えられる。	○ 【本文】 や 【資料】 を参考にと、彌勒菩薩は「 Ⅰ 」ので痛くなかったはずである。 ○ 【資料】 に「盗人に重い罪を犯させまい」とある。	彌勒菩薩は、なぜ「痛い」と泣き叫んだのだろうか。

(例) 凡夫Ⅱ平凡な人。

菩薩はわれわれのように血も肉も備えてはおられない。どうしてお痛みになることがあるのか。それなのに「痛い」とおっしゃったのは、ただひとえにわれら凡夫のために告示したださったのである。そして、「盗人に重い罪を犯させまい」とお思いになったことである。

その当時、人はみなこのことを聞き、「不思議なことだ」と言っ
て感激し尊んだ、とこう語り伝えているということだ。

(『新編日本古典文学全集 今昔物語集』による)

【資料】

- ⑤ [4]の小説文に関して、登場人物の人物像や主人公の気持ち、行動の理由を問う問題が出題されるため、登場人物の行動から心情を読み取り、状況をおさえていく練習が必要。

R7[4]

- 3 優希にとって、愛はどのような人物として描かれていますか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 優希のできないことを平気でやり遂げていく、頼もしい人物。

イ 優希の思いこみを揺さぶり、考え直すきっかけを与えた人物。

ウ 優希の痛いところばかりを突いてくる、付き合いにくい人物。

エ 優希の内面に潜む悩みを見抜き、厳しい言葉で指摘した人物。

- 5 一線部③における優希の心情について、これまでの経過を踏まえ、「優希は愛の話を聞いて、」の書き出しに続けて七十字以内で書きなさい。

主人公の年齢は例年10代であり、受験生に読みやすい文章になっている。
人物像や心情の問題など比較の出題されやすい問題が多い。
長文記述の出題もあり、正答率は23.1%と毎年難易度が高くなっている。

⑥ [5]の作文に関して、近年資料読み取りの問題が出題されるため、資料を読み取る速さ、自分の意見などをまとめる力が必要。

R 7 [5]

1 【会話】における、高橋さんの発言について説明しているものとして、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 渡辺さんの発言を受けて具体例を提示している。
- イ 意見文を書くために文章の構成を思案している。
- ウ 佐藤さんに発言を促すために話題を転換している。
- エ 方言が地域特有のものである理由を考察している。

2 あなたなら、どのような意見文を書きますか。あとの(1)～(3)の条件に従って書きなさい。

条件

- (1) 意見文で取り上げる項目を【資料】のA～Eから一つ選び、空欄Ⅰに書くこと。
- (2) 空欄Ⅱは、二段落で構成し、六行以上八行以下で書くこと。
 - ・ 第一段落には、空欄Ⅰで取り上げた項目にふさわしい具体的な言葉または言葉の遣い方を書くこと。
 - ・ 第二段落には、第一段落で書いた具体的な言葉または言葉の遣い方に魅力を感じる理由を書くこと。
- (3) 原稿用紙の使い方に従って、文字、仮名遣いも正確に書くこと。ただし、資料を示す場合は、次の例にならって書くこと。

H30より作文が別の大問になっていて、資料読み取りがある。
今年度初めて聞き手の役割に関する選択式問題が出題された。正答率は89.4%と、簡単であったようだ。作文において今年度の正答率は47.1%と、昨年よりも低くなっていた。

解答

- R 7 [1] 2(1) エ (2) ウ 3 ア
[2] 4 (例) 人は今を生きるしかない存在であることを直視し、自分に向けて書き、自分が読むことを通して、気がつかなかった自分の可能性を明らかにする
[3] 4(1)Ⅰ (例)人と違い、血も肉も備えていない Ⅱ (例)銅像を壊す
[4] 3 イ
5 (例) [優希は愛の話を聞いて、] 人にはそれぞれの考えがあるのに、周囲の反応を決めつけて自分の行動を制限していたことに気付き、これからは自分の考えに従おうと決意している。
[5] 1 ア 2 省略

※解答は県発表の標準解答に拠る